

「大学教育における身体」

大学教育は従来、教室での講義や演習を中心に、体育を含む実習や実験などの授業科目も開講する形で行われてきました。しかし、コロナ禍を契機に進んだオンライン化や生成AI などデジタル技術の発展は、大学教育における身体のありようを大きく揺るがしています。

一方で、大学教育における身体的な経験や身体知の重要性を再認識し、教育課程や教授・学習活動にそれらを組み込む試みも見られるようになっていきます。

本セミナーでは、「身体を通じて学ぶ」と「身体について学ぶ」ことの2つの視点を軸としながら、これからの大学教育において身体をどのように捉え、教育課程や教授・学習活動のなかに身体性や身体知をどのように位置づけていくことができるかについて考えていきます。

2026年
11月25日 水
14:00 - 17:30

【主催】IDE大学協会近畿支部、京都大学

会場

キャンパスプラザ京都（京都市大学のまち交流センター）
2階ホール（京都府京都市下京区東塩小路町939）
※Zoomによるオンライン参加も可能です。

参加費

無料

申し込み

以下のURLまたはQRコードからお申し込みください。

後日、Zoom接続URLをご案内します

<https://forms.gle/MStMmhXcDthyBVtB8>



締め切り

2026年11月18日（水）



プログラム

14:00 開会

14:10 基調講演

「全学共通教育における身体知」

吉田美和子（上智大学基盤教育センター教授）

14:50 話題提供1

「健康・スポーツ教育における身体を通じた学び」

今井大喜

（大阪公立大学国際基幹教育機構准教授）

14:45 話題提供2

「フィールドでの実践を伴う教育と学習
～身体性を通じた学び～」

河村真理子

（京都大学フィールド科学教育研究センター講師）

15:15 話題提供3

「大学教育における身体性とウェルビーイング」

小室弘毅

（関西大学人間健康学部教授）

16:05 全体討論

（モデレーター：南部広孝（京都大学教育学研究科教授））

17:30 閉会